

令和3年度の重点課題

〈情意面〉

○女子

・運動やスポーツをすることがやきらい、きらいと答える児童の割合が11.76%である。

〈体力面〉

○男子

・「上体起こし」が県平均かつ全国平均よりも低い。

○女子

・「上体起こし」や「20mシャトルラン」、「50m走」、「立ち幅跳び」において、県平均かつ全国平均よりも低い。

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

〈体育の授業で行った取組〉

・年間を通して準備運動(10分～15分)の中に、柔軟運動を取り入れた。

〈体育の授業以外で行った取組〉

・毎週水曜日と金曜日の朝会時に中距離走(400m走)を実施し、定期的に走る機会を設定することで、体力の向上を図ると共に、毎回タイムを記録し、自身の記録向上を目指した。  
 ・中距離走後に「せらにしスタートダッシュ」(20m走)をベア学年で実施、瞬発力と正しいフォームの定着を目指した。  
 ・校内持久走大会に向けて、放課後練習を取り入れた。その際、児童個々に目標をもたせ、毎回の記録を記し、自身の記録向上に向けて役立たせた。  
 ・個人懇談にて、個々の体力状況を説明し、体力向上に向けて家庭との共通理解を図り、協力体制をつくった。

令和4年度新体力テストの結果(県平均値(令和3年度)・全国平均値(令和2年度)との比較)

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	17.75	19.88	34.63	46.88	53.50	8.95	150.63	29.13	58.38	第5学年	17.56	22.11	40.33	41.89	53.33	9.13	147.56	13.67	61.33

県平均値かつ全国平均値未満

令和4年度新体力テストの結果(県平均値(令和4年度)・全国平均値(令和3年度)との比較)

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	17.75	19.88	34.63	46.88	53.50	8.95	150.63	29.13	58.38	第5学年	17.56	22.11	40.33	41.89	53.33	9.13	147.56	13.67	61.33

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	75.00	25.00	0.00	0.00	第5学年	33.33	66.67	0.00	0.00

学校独自の意識調査

毎日、体力づくりに取り組んでいる児童の割合(5年生)...100%  
 運動会をやりきったという思いの児童の割合(5年生)...100%

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

○準備運動の中に、瞬発力を高めるための運動を取り入れる。  
 ・ホップ・ステップ・ジャンプ(できるだけ遠くまでジャンプする運動)  
 ・足上げトライアル(長座の状態から伸ばした足を上下する運動)

○ボールゲーム運動の中で、投げる運動を意図的に仕組んだゲームを行う。その際、投球フォームの確認をしたり、すべての児童に投げる回数を確保したりする。

体育の授業以外で行う取組内容

・毎週、朝会時に中距離走(400m走)やワイプチャレンジを実施し、定期的に運動する機会を設定する。体力の向上を図ると共に、毎回タイムを記録し、自身の記録向上を目指す。  
 ・校内持久走大会に向けて、放課後練習を取り入れる。その際、児童個々に目標をもたせ、毎回の記録を記し、自身の記録向上に向けて役立たせる。  
 ・個人懇談にて、個々の体力状況を説明し、体力向上に向けて家庭との共通理解を図り、体力づくりカードの取組等の協力体制をつくる。

重点課題

〈情意面〉

○「運動やスポーツがやや好き」「好き」と答える児童が100%だった。しかし「好き」と答えた児童が、男子は75%であるのに対し、女子は33%であった。

〈体力面〉

今年度の結果は、今年度の県平均値かつ全国平均値との比較では、全ての項目において上回っている。しかし、昨年度のものとの比較すると、次のような課題が挙げられた。  
 ○男子:「上体起こし」、「立ち幅跳び」において、県平均値かつ全国平均値より低い。  
 ○女子:「立ち幅跳び」、「ボール投げ」において、県平均値かつ全国平均値より低い。

令和5年度の重点目標値

- 運動やスポーツをすることがやきらい、きらいと答える児童の割合0%を維持する。
- 「立ち幅跳び」の記録を県平均値かつ全国平均値以上にする。